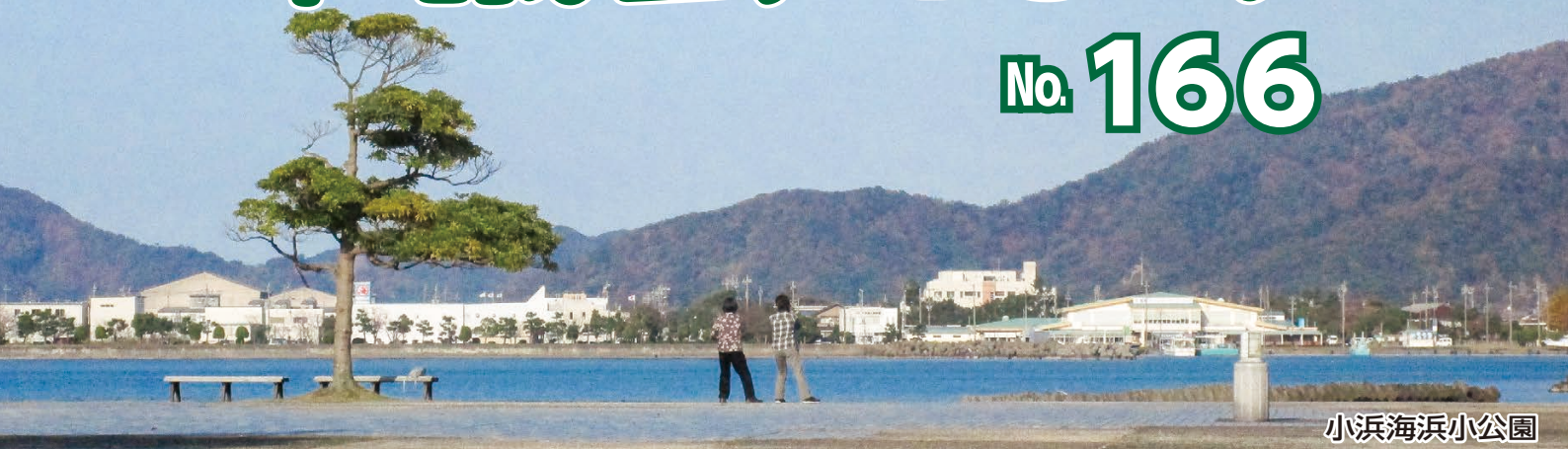


おばま 市議会だより

No. 166



小浜海浜小公園



中央公園



遠敷第5公園



遠敷第2公園



千種公園

11月臨時会のトピックスP2
12月定例会のトピックスP3
市政を問う！一般質問P8

11月臨時会のトピックス

新年を新しい若狭塗箸で迎えよう

新年！若狭塗箸お取替えキャンペーン開催事業

727万8000円

説明 若狭塗箸産業を支援するため、市が若狭塗箸1万5000膳を買い上げ、古い箸と取り替えるキャンペーンを行い、新年に箸を買い替える習慣を浸透させる。(なくなり次第終了)

問 今後の取組みは。
答 令和3年度以降も若狭塗箸協同組合主体でのキャンペーンの実施や、協力店により新年を迎える時期における広報などの取組みを行う予定。



飲食店特別メニューを選んでおうちで団らんを

おうちで団らん応援事業

2480万円

説明 令和3年1月17日までの期間に、3割引きのテイクアウト特別メニューのキャンペーンを行うもの。

問 各飲食店の補助上限額30万円の設定理由は。
答 より多くの飲食店に支援を広げ、それぞれの飲食店の魅力に触れていたただける機会の創出を意図している。



市外からのバスツアーを増やし経済効果を

GOTOおばまバスツアー誘客促進事業

420万円

問 当事業の目的とニーズおよび補助額の算定根拠は。
答 市内に立ち寄るバスツアーの旅行会社に対しバス代金の一部を補助し、観光業の活性化と市内経済への波及を目的としている。

問 補助額の算定については、中型バスによる14名の団体旅行に要する一人当たりの観光消費額を日帰りは約1700円、宿泊は約7000円として、その総額の約2分の1を根拠とした。



【可決した令和2年度補正予算】

会計名	既決予算額	11月補正額	合計(※)
一般会計	197億8,341万円	4,593万円	198億2,933万円
特別会計	75億8,795万円		75億8,795万円
企業会計	34億1,743万円		34億1,743万円
合計	307億8,878万円	4,593万円	308億3,471万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

令和2年第5回臨時会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	杉本	東野	川代	坂上	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	小澤	今井	能登	下中	垣本	藤田	風呂	富永	池尾	賛成	反対
			和範	浩和	雅和	和代	久恵	雅之	輝雄	靖人	博	長純	伸治	恵子	雅之	正直	善平	繁昭	芳夫	正彦		
予算	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第10号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	16	0

※今井伸治議員は議長のため採決には加わっておりません

12月定例会のトピックス

情報通信格差を解消へ

高度無線環境整備推進事業
11億6299万5000円

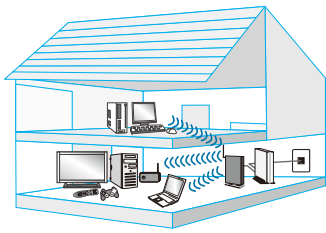
説明 新型コロナウイルス感染症で社会情勢が変化し、情報通信基盤整備の早期の対応が必要なことから、株式会社ケーブルテレビ若狭小浜(チャンネルO)のインターネット回線を現在の200Mbps※から1Gbpsの光ファイバーに整備するもの。

問 年度当初、同社の事業計画にこの整備計画がなかったにもかかわらず、今回、予算が計上された経緯は。

答 令和2年6月に可決された国の第二次補正予算により、光ファイバーの整備を推進することとあわせて、整備にかかる支援は今限りで終了することとなる旨の通知があったため。

問 幹線工事など完了後の供用開始時期は。

答 幹線工事の工期は令和3年度末までで、民間事業者による光ファイバー未整備地域を優先して行い、完了した地域から順次供用を開始する予定。



(※)bps…bits per secondの略で、データ転送速度の単位。

問 引き込みの工事費について契約済みの方の負担は生じるのか。

答 既契約の方の交換工事についてはチャンネルOが行い、新たな負担は発生しない。

意見 工期が遅延することが無いよう努めてほしい。

高水温被害のマサバ養殖への支援

民間活力による「鱒、復活養殖拡大プロジェクト」
253万8000円

説明 令和2年夏に海水温の上昇によって養殖マサバが大量死したことに對し、事業者の種苗再購入を支援するもの。

問 高水温への対策は。

答 夏場の生産を一時停止し出荷形態を冷凍に切り替えるなど、高水温を意識した年間計画により対策を講じる。

問 陸上養殖への考えは。

答 陸上養殖は多大な投資コストを要する。県や県立大学などとともに生け簀や研究施設のデータ等を活用して、海面養殖を地域産業として確立できるよう取り組む。



野菜工場の新設を支援

小浜市企業振興助成金
5000万円

説明 株式会社悠晴が加斗地区の工場で、10人以上を新規雇用することなどの要件を満たし操業したため助成するもの。

問 新規雇用の要件の具体的内容は。

答 市民に限定すると企業が必要な雇用を確保でき

ず操業が困難となる可能性もあることから、人数のみを要件としている。

問 助成後の支援体制は。

答 市長の企業訪問で状況を把握し相談を受けて支援を継続する。また、企業に対して市民を優先しての雇用を依頼していく。

【可決した令和2年度補正予算】

会計名	既決予算額	12月補正額	合計(※)
一般会計	198億2,933万円	13億4,686万円	211億7,619万円
特別会計	75億8,795万円	36万円	75億8,831万円
企業会計	34億1,743万円	△28万円	34億1,715万円
合計	308億3,471万円	13億4,694万円	321億8,165万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

委員会審査の主なもの

予算決算常任委員会 (12月補正)

閲覧しやすいホームページへ

公式ホームページリニューアル事業

1346万2000円

説明 新型コロナウイルス感染症に関する情報などについて市公式HPを閲覧する人が増えている。急速に増えているスマートフォンへの対応や外国語翻訳などの機能が不足しているほか、編集システムが古く、レイアウトデザインを変更する際に手間や時間を要する課題があるため。

問 維持管理経費を勘案した業者の選定方法は。

答 プロポーザル方式により、幅広く全国から募集する予定。経費は参考の見積書をもとに算出するほか、近隣自治体を参考に、初期費用や年間の維持管理経費も可能な限り抑制したい。

保育園の遊具修繕や更新

保育施設環境整備事業

2949万9000円

説明 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、公立保育園の老朽化した遊具の修繕、更新や園庭の改良工事、老朽化した空調機器の更新などを行う。

意見 私立保育園においても、臨時交付金を活用して保育環境整備ができるよう対応を考えたい。

総務民生常任委員会

条例審査(主なもの)

小浜市附属機関設置条例の制定について

説明 要綱等で設置している審議会等について、地方自治法に基づく附属機関として設置することを定める条例。

問 条例で定められない審議会等の扱いは。

答 附属機関に該当しない分類の懇談会や実務者会議等は、要綱等で設置を規定する。

指定管理

小浜市営駐車場および小浜市自転車駐車場の指定管理者の指定について

説明 株式会社オーイング・日本システムバンク株式会社共同事業体を指定管理者に指定するもの。

問 新たな指定管理者となる事業者が提案する事業計画の特徴とその経営状況は。

答 より快適な駐車場の提供、駐車場を活用した市街地の活性化やスマートフォン等を活用した駐車場の空き情報の提供などの提案を受けている。経営状況については、自己資本比率は適正である。

請願審査

7歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書

賛成意見 引上げに伴う高齢者の受診控えを防ぐために提出すべき。

反対意見 社会保障費が増えていく中で、現役世代に今以上の負担は求め

られず、高齢者にも能力に応じた負担を求める改革が必要。

産業教育常任委員会

指定管理

小浜市町並みと食の館の指定管理者の指定について

説明 有限会社ホテルアーバンポートを小浜市町並みと食の館の指定管理者に指定するもの。

問 コロナ禍における当団体の意気込みや市の支援、施設整備や非接触型会計システム導入等の感染症対策、指定管理者とのリスク負担の内容について。

答 昨年度末から利用客は減少しているが、同社には三丁町エリア等のハード整備完了を好機と捉え、地道な情報発信や企画に磨きをかけるなど引き続きエリアの盛り上げ役を担う強い意気込みがあり、市としても情報発信等側面での支援を行う。感染症対策は、施設整備やシステム導入の予

定はなく、検温や消毒等の一般的な対策をしていただくことになる。また、リスクの負担は、感染予防にかかる自粛等の要請があった場合は、自粛期間にかかる経費分を考慮し納付金額の協議を行う。

その他

電前企業団地の分譲地を処分

説明 市が700000㎡の土地を8890万円の価格で売り払うことについて、議会の議決を求めるもの。

問 処分先の企業が取り扱う材料等の安全性と周辺地域の理解および処分価格の単価が公表している分譲価格の単価よりも低価格であることに対する妥当性について。

答 企業の業務は、主に酸素を詰める作業で、安全性を説明し理解を得ている。単価については、過去の売却価格の実績や下落率を加味し、さらに奥行価格補正などにより不整形地補正率を算出し適正価格を決定した。

議会を傍聴しませんか？

— 3月定例会の予定 —

2月24日(水)	本会議・予算決算常任委員会
2月25日(木)	//
3月1日(月)	総務民生常任委員会(分科会調査)
3月2日(火)	//
3月3日(水)	産業教育常任委員会(分科会調査)
3月4日(木)	//
3月16日(火)	一般質問
3月17日(水)	//
3月18日(木)	予算決算常任委員会
3月23日(火)	本会議

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じて、変更が生じる場合があります

令和2年第6回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
予算	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第12号)	条例	小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について
	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第13号)		小浜市附属機関設置条例の制定について
	令和2年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市国民健康保険税条例の一部改正について
	令和2年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく市税条例の特例に関する条例の一部改正について
	令和2年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
	令和2年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	指定管理	小浜市営駐車場および小浜市自転車駐車場の指定管理者の指定について
	令和2年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市町並みと食の館の指定管理者の指定について
	令和2年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	意見書	防災・減災、国土強靱化対策と地方創生に向けた社会資本整備の推進を求める意見書
	令和2年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	市会案	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について
	令和2年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について
	令和2年度小浜市水道事業会計補正予算(第2号)	その他	財産の処分について
	令和2年度小浜市下水道事業会計補正予算(第2号)		

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	杉本和範	東野浩和	川代雅和	坂上和代	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対	
予算	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第11号)	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	16	1
条例	小浜市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	16	1
請願	75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書	否	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	1	16	
意見書	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書	全	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	16	0

※今井伸治議員は議長のため採決には加わっておりません

一般質問ってどんなん?

令和2年12月14日(月)の一般質問を傍聴に来られた方に傍聴しての感想をお聞きしました。

初めての議会の傍聴だったので、非常に興味深く聞かせていただきました。

議会事務局の方には丁寧に案内していただき、初めてでも安心して傍聴席に入ることができました。議会の内容は一般質問だけあって多岐にわたっており、市政の大きな現状を知るには良い機会だなという印象を受けました。

また、質問内容に関する資料もいただけるので、自分の興味関心を深めることができるのもありがたかったです。1つお願いするなら、答弁の中に出てくる数字や要点をモニターに映しただけだと、もっと聞きやすくなると思いました。

皆さんもぜひ一度傍聴席に座り、その緊張感や雰囲気を感じていただくといいと思います。

(20代男性 大学生)

可決した意見書(概要)

※可決された意見書は国会や関係行政に提出しています。

防災・減災、国土強靱化対策と地方創生に向けた社会資本整備の推進を求める意見書

近年、全国で大規模な自然災害が頻発する中、国において「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が取りまとめられ、集中的に国土強靱化対策が進められてきたところである。

現状において、本市が進める安心して暮らせるまちづくりを実現するためには、防災・減災対策に継続して取り組むとともに、社会インフラの老朽化対策や災害時の広域避難道路としての機能を果たす舞鶴若狭自動車道の早期全線4車線化などさらなる国土強靱化対策が必要である。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大による未曾有の危機を乗り越え、地域を持続的に維持・発展させるためには、地方創生を力強く進めていくことが重要である。

国においては、次の事項に特段の措置を講じられるよう強く要望する。



- 1 国土強靱化に向け高い効果を発揮している「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」をさらに発展させ、市民生活を支える都市基盤施設の強化に引き続き取り組むとともに、洪水による水害および地すべりなどの土砂災害による被害防止に向けた治水対策の強化や平時災害時における安定的な人・物の流れを確保するための舞鶴若狭自動車道等の高速道路の全線4車線化等にも対象事業を拡大した、新たな5か年の計画を策定し、必要な予算を安定的に別枠で確保すること。
- 2 急速に老朽化の進む社会インフラに対し、予防保全型の修繕・更新が求められる中、さらに市民生活の安全・安心を確保するため、予算を拡充し必要な予算措置を行うこと。
- 3 新型コロナウイルス感染拡大に伴い低迷している地域経済の早期復興のため、景気の下支えや雇用創出に繋がる公共事業を含めた経済対策を講じること。その際、災害に強く安心して暮らせる基盤の構築や、分散型の国土利用や物流・観光等の経済活動復興に資する道路ネットワークの整備を早急に進めること。

北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書

北陸新幹線は、北陸圏が首都圏や関西圏と直接結ばれ、流動人口、定住人口の増加等、地域活性化に繋がるとともに、経済波及効果も大きいことから、沿線地域の飛躍的發展に大きく寄与するものと期待されている。

敦賀・新大阪間については、2019年5月に概略の駅およびルートが公表され、現在環境アセスメントが進められており、福井県嶺南地域はもとより、関西地域においても早期全線開業に向け機運が高まっている。

政府・与党においては、建設財源の早期確保に努めるとともに、環境アセスメント終了後の速やかな工事実施計画認可と、工事期間の最大限の短縮を図るなど、北陸新幹線全線開業を1日も早く実現するよう、次の事項について強く要望する。

- 1 敦賀・新大阪間の環境アセスメントを沿線地域の意見を踏まえながら、迅速かつ着実に進め、2022年度末までに終えること。
- 1 敦賀・新大阪間について、2023年度当初には着工できるよう早期に財源を確保し、2030年度末頃(北海道新幹線・札幌開業)までに新大阪までの全線開業を実現すること。
- 1 金沢・敦賀間について、1日も早い

1 JR小浜線は優等列車が走っており、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線でないため、経営分離される並行在来線には該当しない旨、国の考えを確認すること。

開業の実現に向けて、工期短縮を徹底するなど、あらゆる手段を講じること。

今月の表紙

『市営公園』

産業教育常任委員会では、「これからの市営公園のあり方について」をテーマに所管事務調査を実施しています。

調査内容は、少子高齢化等社会状況の変化を踏まえ、市民ニーズに適合したこれからの市営公園にふさわしい利活用や管理のあり方を検討するもので、令和2年11月16日から18日にかけて、市内27か所の公園の現地調査を実施したほか、利用者等への聞き取り調査により現状の課題を抽出し、それらを解決する政策の議論を進めています。(調査終了後には、本会議にて調査結果を報告する予定です。)

議会改革の取組み

議員が病気療養などで長期欠席した場合に議員報酬等を減額する条例案を可決

現在、市議会の会議等について、長期にわたって欠席することを余儀なくされた議員が、議員報酬または期末手当を辞退、返還することは、公職選挙法に規定される寄附行為に該当するため禁止されています。

このような現状の中、議会運営委員会にて、議員が長期欠席した場合などにおける議員報酬等の取扱いについて、さまざまな観点から延べ11回にわたる協議・検討を行い、全議員による政策討論会も経てまいりました。結果、12月定例会において、市議会議員の果たすべき職責を踏まえ、長期にわたって会議等に欠席した場合などにおける議員報酬等の減額・一時差止処分を規定した「小浜市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」が議員提案され、全会一致で可決されました。

条例の主な内容は以下のとおり

療養等正当な理由により長期欠席した場合

○議員報酬

長期欠席の日数が 90 日を超え 180 日以下の期間	25%を減額
〃 180 日を超え 270 日以下の期間	50%を減額
〃 270 日を超え 365 日以下の期間	75%を減額
〃 365 日を超える期間	100%を減額

○期末手当

基準日の前6か月の期間における長期欠席日数（90日を超えるもの）の割合に応じて減額

※公務上の災害、女性議員の出産、感染症の患者または無症状病原体保有者であることにより会議等を欠席する場合は、長期欠席の日数に含まれません。

刑事事件の被疑者または被告人として法律上の身体を拘束する処分を受けた場合

○議員報酬

身体を拘束する処分を受けた期間の議員報酬を一時差止

○期末手当

基準日の6か月前の期間中に身体を拘束する処分を受けている場合、期末手当を一時差止

※一時差止めた議員報酬および期末手当は、その後、刑事事件について無罪が確定した場合等は差止処分を取り消します。なお、有罪が確定した場合は支給されません。

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
 - お祭りへの寄附や差し入れ
 - 地域の行事や運動会への差し入れ
 - 病気見舞い
 - 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
 - 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
 - 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
 - お中元やお歳暮
 - 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆を除く）
- また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

市政を問う！一般質問

令和2年第6回(12月)小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1. 小浜市の財政運営について 2. 第8期介護保険事業計画について	佐久間 博	1. コロナ禍における食のまちづくりについて 2. コロナ禍における教育環境について
杉本 和範	1. 市の健康づくり計画について 2. 学生の地域課題への取り組みについて	東野 浩和	1. 小浜市業務継続計画について 2. 介護分野におけるICT導入について
坂上 和代	1. 市営住宅の家賃減免規則の改定ができないか 2. 小浜市持続化給付金給付要領について 3. 補聴器購入の公的助成ができないか	下中 雅之	1. 新年度当初予算編成方針について 2. 北陸新幹線敦賀開業について
能登 恵子	1. 女性や子どもに配慮した政策を	熊谷 久恵	1. 横断歩道の摩耗報告について 2. 都市計画マスタープランの見直しについて
		小澤 長純	1. コロナ禍の教育行政について 2. 将来を見据えた行財政の運営について



風呂 繁昭
議員

令和3年度以降、毎年2億円超の赤字に

問 「中期財政計画」について伺う。市税と歳入総額の見込みと、コロナ感染症の影響は。

答 市税は平成23年度の38億3600万円をピークに令和元年度は36億9200万円、令和2年度は約35億3900万円となる、歳入総額の見込みは、令和2年度は約116億円でコロナ感染症の影響により令和3年度は約113億3300万円に落ち込む。

問 貯金にあたる財政調整基金の推移は。

答 令和3年度以降毎年2億円超の赤字になり16億円から約6億2400万円になる。

問 扶助費や、その他行政経費の推移と見込みについて伺う。

答 扶助費は令和元年度7億6000万円か

ら令和6年度は約9億円になる。その他行政経費は、令和元年度は13億2100万円、令和6年度は16億7900万円になると見込んでいる。歳出総額は令和2年・3年は約116億円で、令和4年には117億3000万円に推移する。

問 コロナ禍において、介護サービスを控える事により介護事業所に影響はないか伺う。

答 サービスの利用を控えるケースはあったが、事業所の収入として大きな影響はない。

問 介護予防、日常生活圏域ニーズ調査と在宅介護実態調査の分析結果と、それを踏まえ第8期介護保険事業計画についてどの様に取組んでいくのか。

答 慢性期の医療、介護ニーズに対応できるような医療が必要な要介護者の受け入れや看取り機能と生活機能を兼ね備えた「介護医療院」の設置計画を進める。



杉本 和範
議員

健康づくり政策・地域課題探求の未来

問 小浜市民の健康状態の傾向は。

答 心臓疾患のうち、急性心筋梗塞による死亡については、全国の平均値が100とされる標準化死亡比が小浜市は男性145.6、女性146.0と高い状況となっており、軽度の肥満と高血圧症や喫煙が重なる「メタボリックシンドローム」の予防が重要な課題。

問 本市健康増進・健康づくりの取り組みは。

答 市民の健康行動を実践するきっかけと継続を支援する「ポピュレーションアプローチ」と、何らかの健康課題を抱える個人に対して行う「ハイリスクアプローチ」を併用して、健康診査や各種相談教室の実施、また健康情報の提供等の保健事業

を実施。食育においては、市民一人一人が健康増進のために、「何を」「どのように」食べるとよいかを、様々な角度から具体的に示したオリジナルの食生活指針「元氣食生活実践ガイド」を平成24年度に作成。

問 メタボン退治ウォーキング事業の成果は。

答 想定以上に多くの市民が積極的にチャレンジ、予定より早い11月20日をもって事業終了。1回でも歩数の基準を達成し、「おぼまちケット」を受け取られた市民の人数は2241人であった。

問 学生の地域課題探求について、県立高校と小中学校の連携について。

答 現在、地域課題への取り組みにおいて小中高校間協働でワンペーパーで俯瞰できる「共通のカリキュラム」の作成を進めている。地域課題に取り組む若者の人材育成に貢献できると考える。

一般質問



さかがみ かずよ
坂上 和代
議員

問 コロナ禍で収入減になった人の市営住宅の家賃を減免できないか。

答 生活保護基準額を減免の基準としているので、「これに満たないもの」という規則に則っている。

意見 茨城県水戸市では、生活保護基準額の項目が本年から外されたという例がある。

問 市の「持続化給付金事業」の実績と、要件である「税の滞納がないこと」の項目を外せないかを伺う。

答 229件の申請があり212件給付した。コロナで納税が困難な方には、ほぼ全ての税目を対象に、無担保、延滞金なしの1年間の徴収猶予が受けられる。
意見 この度の給付金制度の他にも様々な給

給付金支給要件「税の滞納なし」外しを

付や支援があっても、「滞納なし」のハードルがあり申請できないのが実情。これを何とか取り外せないか、生活困窮者の方への柔軟な対応をお願いする。

問 加齢による難聴は認知症発症のリスクとも指摘されている。特定健診の検査項目に「聴力検査」ができないか、また補聴器は高額なので買えない人が多く、補聴器購入の助成の検討を伺う。

答 特定健診は、国民健康保険の被保険者を対象に実施しており、検査項目は国が定めているもので、聴力検査はない。本市が実施している補聴器の購入補助は、聴覚における身体障害者に対して行っている。加齢による難聴者に対する助成は県下にはない。

意見 埼玉県・朝霞市や愛知県北名古屋市の設楽町等で助成されていることを紹介する。



の と けい こ
能登 恵子
議員

問 2020年までの「小浜市男女共同参画基本計画」は、どのように推移したのか。

答 「男は仕事、女は家庭」という固定的役割分担意識に否定的な人の割合はわずかに増加し、特に教育現場では男女共同参画の意識が浸透してきている。

しかし、地域においては、慣習やしきたりが残っており、まだまだ意識改革が進んでいない結果となっている。

問 新型コロナウイルス禍の中で、女性の自殺者が異常に増加していることについて、市ではどう認識しているのか、その対策は。

答 原因・動機を見ると、健康問題・家庭問題・勤務問題が増えている。小浜市における自殺者は、全国的な傾

女性や子どもに配慮した政策を

向には至っていないが、危機感を持って取り組みが必要がある。昨年度策定した自殺対策計画においては、「相談窓口体制の充実」「人材育成の推進」を掲げている。問題が深刻化する前に、負の連鎖を止めることが必要であり、今後相談窓口の周知とゲーキーパー研修の対象拡充や専門機関へのつなぎなどを確実に実施していく。

問 「自殺総合対策大綱」では、SOSの出し方に関する教育を推進するよう明示されている。生きるためのSOSの出し方を学ぶことはとても重要だが。

答 コロナ禍の中、子ども達には、感染症対策、行事変更など生活や学習への負担があったと推測。家庭訪問や担任やスクールカウンセラーによる面談など不安解消に努め、一人で悩みを抱え込まないよう、子ども達と話をしよう努めたい。



さ く ま ひろし
佐久間 博
議員

問 食文化館運営におけるコロナ対策は。

答 休館中はオンラインによる情報発信し、再開後は体験人数を半分に、消毒、換気検温などに対応した。

問 自粛後の現状は。

答 来館者は40%だが、9月からは修学旅行団体が約5千人で昨年の8割増加。

問 教育旅行受入れは。

答 団体を数班に分け工芸体験や講座などローテーションしている。

問 新たな事業展開は。

答 オンラインを活用した料理教室など生活様式に合ったプログラムで取り組む。

問 新たな食育とは。

答 体験を通して子ども達に43項目の達成率の数値化の工夫など食育事業を磨く。新たな食育推進計画を策定し

食育文化都市として人材育成を目指す！

「教育としての食育」産業を支える人材育成としての食育で業推進していく。

問 保育園におけるコロナ対応は。

答 原則開所とした。感染防止に努めた。

問 小中学校の状況は。

答 国の要請を受けて臨時休校した。開校後は感染防止対策、児童の心や体のケアしながら学習活動している。

問 学校行事の対応は。

答 中止した行事もあるが、修学旅行は工夫しながら実施出来た。

問 ICT環境の整備状況は。

答 学校内だけでなく在宅でのオンライン学習の支援の充実と関係機関へ働きかけ取り組み。

問 こどもたちの未来への教育環境の思いは。

答 新しい時代を生き抜く「志」を持った学びと「目指す人間像」を掲げている。子供たちの教育環境の整備を進めたい。



ひがしの 東野 浩和
議員

問 地域防災計画との相違点は。

答 行政自らの被災も想定し、人や物などの利用できる資源に制約がある状況下においても、災害業務だけでなく、優先度の高い通常業務にも適切に対応することを目的とした計画である。

問 優先度の高い通常業務の選定は。

答 市民生活に係わる業務の停止等を最小限にするため、継続・早期回復という点において、各課が選定基準に基づき決定している。

問 具体的にどのような災害を想定しているか。

答 大規模の自然災害だけでなく、新型コロナウイルスの蔓延など、あらゆる緊急時においても、目安として活用

する計画としている。

問 本計画を支える受援計画の現状と今後は。

答 県および県内自治体、近隣自治体、民間企業などと応援協定等を締結している。また、的確な受け入れ体制と受援の対象業務を明らかにした「小浜市受援計画」の策定を現在進めている。

問 職員への意識づけ、教育についての現状は。

答 本計画については適宜、内容の確認を促している。また、発災時には自立的に行動することが重要であり、実効性等の定期的な点検と改善を各課に徹底して行きたい。

意見 本計画は発災時における非常に現実的な計画である。特に被災程度による利用資源の想定は重要と考える。

よって、自然災害においてその点まで踏み込んだ具体的な計画を策定し、より有効な行動指針につなげていくべきだ。

業務継続計画の現状と重要性について



したなか まさゆき
下中 雅之
議員

問 令和3年度当初予算編成に当たっては、歳入に見合った予算規模にするとのことであるが、事業効果の検証や事業の取捨選択に対する考えを伺う。

答 「最小の経費で最大の効果」を上げることができるよう、すべての事業について、目的や将来見通しを明確にしたうえで、時代の変化に合わせて、事業の必要性、手法の妥当性、費用対効果を検証し改善を図っていく。

また、健全財政の確保に向けて、検証結果による事業の取捨選択や平準化を行い、実施事業については、スリム化を徹底していく。

問 新年度当初予算編成にあたり、小浜市の重要課題や社会情勢等の変化に対応できる組

織機構構築の取り組みに対する考えを伺う。

答 厳しい財政運営が続く中、持続可能な財政運営のためには、組織のスリム化は避けられないものと考えている。その一方で、現在、策定中の第6次市総合計画の基本構想や市長マニフェストの「育成！ふるさと小浜デザイン」の実現は、将来の小浜市の成長の基礎を築くためにも重要であることから、これら両面を視野に入れて、組織機構の検討を行っているところ。

問 北陸新幹線敦賀開業の遅れによる嶺南地域や本市に対する影響について考えを伺う。

答 敦賀開業の遅れについては、金沢・敦賀間の沿線地域はもとより、嶺南地域においても2023年春の敦賀開業に向け、観光振興策やまちづくりなど様々な準備を進めていることから、遅れが与える影響は計り知れない。

長期的視点で持続可能な行財政運営を！



くまがい ひさえ
熊谷 久恵
議員

問 都市計画マスタープランの概要は。

答 総合計画に即した都市計画の指針で個別計画の上位。都市計画区域を対象に用途地域を定め土地利用の方針を示して都市計画道路、公共下水道、公園などを設置し、規制・誘導、都市施設の整備などを行う。

問 都市計画区域とは。

答 小浜、雲浜、西津の全域、今富、内外海、国富、遠敷、松永、口名田、加斗の一部。

問 立地適正化計画は。

答 用途地域を前提とした居住誘導、都市機能への投資、公共交通の充実など「コンパクトな街づくり」に取り組むための計画。

住民目線での都市計画の見直しも必要！

地・家屋の課税標準額に同率0.25%を乗じて算定。都市計画道路整備、公園や下水道の維持管理など都市計画事業に使う目的税。

問 市の手の届かない開発が進む約10年間で274世帯522人増加した用途地域でない生守区を含む、このエリアの下水道汚水計画は。

答 人口は1.4%減少と見込むも8.0%増加、計画汚水量は1.0%減少と見込むも17.7%増加。だが余裕ある計画の為、汚水処理に問題はない。

問 10年前に保育園が統合新設開園したが想定定員と現状の比較は。

答 定員140人とするも3歳未満の入園希望が増加し、ほぼ定員を上回る状態で推移。

問 実情を踏まえた計画の見直しが必要では。

答 現在第6次総合計画を策定中。都市計画マスタープランも様々な環境の変化を反映する必要があると考える。

一般質問



おざわ ながすみ
小澤 長純
議員

問 校内の消毒作業が教職員の負担となり、本来の業務に支障が出てきているのではないかと。
答 負担が大きいと感
じている。市内11校全
校に学校運営指導員を
配置し、教職員の負担
軽減を図っていきたい。
問 令和2年度から6
年度の中期財政計画は
非常に厳しい内容とな
っているが、7年度以降
の見通しは。
答 広域一般廃棄物処
理施設の建設負担が本
格的に始まり、広域齋
場の整備資金も加算さ
れるため、更に厳しい
状況となることが予想
される。
問 北陸新幹線の敦賀
開業や小浜開業のため
の財源はどのように確
保するのか。
答 敦賀開業に向けて

持続可能な行財政運営に何が必要！

は、「敦賀開業アクションプラン」に基づいて着実に進めていく。また、小浜開業に向けては、今後、新幹線整備にかかる負担金や新駅周辺整備の必要額を算出し、その財源確保のためにあらゆる努力を行っていく。
問 小浜市の持続可能な行財政運営のために何が必要か。
答 財務体質の改善、組織機構の改革、徹底した民間活力の導入、この3つにしっかりと取り組み、来たるべき北陸新幹線小浜開業に向けた準備を進めていきたい。
問 行財政改革に向けたの決意を問う。
答 令和6年度までの5年間を、行政改革集中推進期間とし、3つの重点計画を聖域なく実施し、小浜開業に向けて必要な投資ができるよう体力をつけ、本市の成長の礎を築いていきたい。

議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

10月

日	曜	行事等内容	出席者
2	金	予算決算常任委員会 議会運営委員会	全議員 関係議員
6	火	令和2年第4回定例会、全員協議会 議会運営委員会、広報委員会	全議員 関係議員
7	水	小浜市原子力発電環境安全対策協議会	議長・関係議員
8	木	若狭消防組合議会、公立小浜病院組合議会	関係議員
12	月	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議(若狭町) 広報委員会	副議長 関係議員
13	火	全員協議会 議会運営委員会	全議員 関係議員
19	月	第6次小浜市総合計画調査特別委員会 産業教育常任委員会	全議員 関係議員
13	金	福井県原子力環境安全管理協議会	議長
26	月	福井県市町議会議員合同研修会(福井市)	全議員
27	火	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会要望活動(大津市ほか)	副議長
28	水	行政視察受入れ(愛知県西尾市議会) 議会運営委員会	正副議長・ 関係議員 関係議員
29	木	地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
30	金	産業教育常任委員会	関係議員

11月

日	曜	行事等内容	出席者
2	月	議会運営委員会 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会	関係議員 議長
3	火	小浜市表彰式	全議員
9	月	議会運営委員会	関係議員
10	火	全員協議会	全議員
13	金	令和2年第5回臨時会、予算決算常任委員会 議会運営委員会	全議員 関係議員
16	月	産業教育常任委員会管内現地調査(~18日) 小浜市議会災害対策連絡会議、各派代表者会	関係議員 関係議員
19	木	北陸新幹線早期全線開業特別委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会、広報委員会	関係議員

12月

日	曜	行事等内容	出席者
20	金	議会運営委員会、総務民生常任委員会	関係議員
24	火	全員協議会、政策討論会 若狭消防組合議会臨時議会	全議員 関係議員
27	金	北陸新幹線に関する小浜商工会議所との意見交換会	関係議員
30	月	令和2年第6回定例会、予算決算常任委員会 広報委員会	全議員 関係議員
1	火	公立小浜病院組合議会	関係議員
2	水	総務民生常任委員会・分科会 小浜市防犯隊年末警戒出動式	関係議員 議長
3	木	全員協議会 産業教育常任委員会・分科会	全議員 関係議員
4	金	北陸新幹線に関する緊急要望(東京都内)	議長・関係議員
8	火	第6次小浜市総合計画調査特別委員会 議会運営委員会、産業教育常任委員会	全議員 関係議員
11	金	北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
14	月	令和2年第6回定例会(一般質問)	全議員
15	火	令和2年第6回定例会(一般質問) 議会運営委員会	全議員 関係議員
16	水	予算決算常任委員会 北陸新幹線早期全線開業特別委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会、各派代表者会	全議員 関係議員
17	木	議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
18	金	令和2年第6回定例会、全員協議会、予算決算常任委員会 議会運営委員会、広報委員会	全議員 関係議員
22	火	若狭消防組合議会 公立小浜病院組合議会	関係議員 関係議員
23	水	嶺南広域行政組合議会(敦賀市)	関係議員
24	木	若狭広域行政事務組合議会(若狭町)	関係議員
25	金	小浜市水防協議会	議長

特集 北陸新幹線早期全線開業をめざして!!

小浜市議会では、北陸新幹線の新大阪までの全線開業を早期に実現するため、さまざまな活動を行っています。

小浜商工会議所との意見交換会を開催 令和2年11月27日・小浜市役所

北陸新幹線早期全線開業に向けた取組みについて、本市議会の北陸新幹線早期全線開業特別委員会と小浜商工会議所との意見交換会を開催しました。

意見交換の中心は、金沢・敦賀間の開業が遅れる見通しとなっている中、敦賀以西の着工に向けた取組姿勢や、敦賀開業後に向けての観光客の誘導についてなど活発な意見が出されました。

市議会側からは、「敦賀以西の着工と敦賀開業の遅れとは別物であり、令和5年春の着工を勝ち取る必要があること」、会議所側からは、「観光客の誘導については、開業に向けた準備が嶺南全体で遅れている中、嶺南という“面”でしっかり準備を進める必要がある」など、熱い意見を交わしました。また、今後も継続的に意見交換を行っていく必要があることを確認しました。



約20人が参加した意見交換会

北陸新幹線に関する緊急要望を実施 令和2年12月4日・東京都内

北陸新幹線金沢・敦賀間の開業が遅れる見通しとなったことを受け、北陸新幹線の敦賀以西については令和5年度当初に着工することを求める緊急の中央要望活動を行いました。

本市議会の今井議長と北陸新幹線早期全線開業特別委員会の下中委員長が、松崎市長とともに国土交通省や議員会館を訪問し、赤羽国土交通大臣をはじめ、岡田内閣官房副長官や与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの細田座長らに要望書を手渡しました。

赤羽国土交通大臣からは、「敦賀以西については環境アセスを進めていて、詳細なルート選定には課題も多いが、今後も精力的に取り組んでいきたい」とのコメントをいただきました。



赤羽国土交通大臣への要望活動

北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書を議決 令和2年12月18日・小浜市役所

小浜市議会本会議において、敦賀以西の令和5年度当初の着工や、令和12年度末頃までの新大阪までの全線開業などを求める意見書を全会一致で可決しました。詳細は6ページをご覧ください。

今後も早期全線開業をめざして
全力で取り組んでいきます

●ホームページを ご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後2週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。



あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか？

おばま市議会だよりの表紙写真募集中!!

詳しい要項や過去の議会だよりの表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
 2. 画像データは1作品2～3MB程度のJPEGデータ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2～3MB程度でお願いします。

【応募方法】

- ・応募は、データの持参またはメールでお願いします。

メールアドレス: gikai@city.obama.fukui.jp

- ・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。（肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。）
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

編集後記

新春をことほぎ謹んでお慶びを申し上げます。旧年は、新型コロナウイルスに振り回された一年でしたが、感染症対応地方創生臨時交付金などを活用した地域活性化政策やIT関連事業、安心安全な保育環境整備など、今までできなかったことも進みました。

広報委員会としましては、議会の活動をもっとわかりやすく、読んでいただけるような紙面づくりに努力してまいります。皆さまの感想などご意見は、私たちの議会活動の大きな糧となります。今年もよろしくお願ひいたします。
(広報委員長 能登恵子)